

花と緑の銀行だより

222号 2022.1



新種「クレハオトメシダレ」 呉羽山公園都市緑化植物園
(写真：富山支店)

目次

- ・花と緑の提言 新年のごあいさつ（富山支店）・・・・・・・・・・ 2
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ダルマシオン（職藝学院 渡邊美保子）・・ 3
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 モチノキ（樹木医 西村正史）・・・・・・ 4
- ・とやまの花壇 入善 櫛山銀行の花壇・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ・「全国花のまちづくりコンクール」で大賞・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ステップアップ研修に参加して（砺波支店 梅檀野地方銀行 西口忠光）・・・・・・ 7
- ・この人あり もっと！身近に花を（砺波支店 東野尻地方銀行 高木清一）・・・・・・ 7
- ・お知らせ 1月～3月の主なイベントなど・・・・・・・・・・・・ 8



新年のごあいさつ

花と緑の銀行 富山支店長

富山市長 藤井 裕久

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃から、花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、富山市では、人口減少と少子・超高齢社会の進行や過度な自動車依存による公共交通の衰退、市街地の低密度化などの課題に対応し、将来にわたって持続可能な都市を構築していくため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を推進しております。令和2年3月には路面電車南北接続事業の完成により「富山市民100年の夢」である南北市街地一体化が実現し、一つの集大成を迎えました。

こうしたなか、本市では立山連峰から富山湾にかけて広がる多彩な緑と水の流れが形成する豊かな自然とその恵みを次世代へと引き継いでいくため、「富山市緑の基本計画」を作成し、地域の特色を活かした緑化活動を推進しております。

富山の玄関口となる市内中心部では、「フラワーハンギングバスケット事業」を実施しており、季節ごとに植替えされた色とりどりの花でまちなかを彩っています。このフラワーハンギングバスケットを通じて本市の魅力をPRするとともに、市民の皆様や観光客の方々に潤いのある景観を楽しんでいただいております。



写真1 市内中心部を彩るフラワーハンギングバスケット

また、富山を代表する桜の名所「松川」では、美しい桜並木を将来へと残していくため、土壌改良や枯枝・腐朽部の除去等の保全事業を実施しており、

令和2年度には「松川さくらサポーター」を結成し、市民の皆様にもお礼肥や見守りなど保全活動にご協力をいただいております。



写真2 富山市中心部、松川べりのさくら
約470本のソメイヨシノによる桜並木が見事です。

そのほか各地域の緑化活動には市民の皆様と協働で行っているものが多くあります。

市民から募ったサポーターの皆様には、フラワーハンギングバスケットの植込みから、設置、その後の花がら摘みや灌水などの維持管理作業まで取り組んでいただいております「市民とひろげるフラワーハンギングバスケット事業」や、市内の公園で頭取・グリーンキーパーの方々と栽培したヒマワリを富山駅やウエストプラザに展示する「ヒマワリプロジェクト」、身近な公園で地域の方々が野菜を育て、収穫を分かち合うことで社会的絆を醸成する「街区公園コミュニティガーデン事業」など、どの活動も市民の皆様が主体となって取り組んでいただいております。

このような市民主体の緑化活動を推進することは、単に花や緑を増やすだけではなく、高齢者の外出機会の創出、住民の地域づくりへの参画、世代間交流の活発化など様々な効果を生むものと考えております。

今後も市民の皆様と一体となって、花と緑にあふれた魅力あるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、地域の緑化推進のリーダーである頭取・グリーンキーパーの方々や市民の皆様には、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の益々の発展と皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 39 ダルマシオン ～

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

ダルマシオンはキク科の宿根草で、絶滅危惧種のシオンの園芸品種です。10月中旬にラベンダー色の花を咲かせます。先端だけではなく、側芽にも花がたくさん咲いてにぎやかになります(写真1)。2mほどになるシオンに比べると草丈が低く120～150cm程度です。倒れないので手間がかかりません。夏から秋にかけて咲くオミナエシなどを組み合わせると、秋らしい彩りになります。



写真1 ダルマシオンの花。10月中旬。乾燥に強く、日当たりを好む。葉は秋に淡黄色に変わる。

4月になると、ダルマシオンの新芽はまるで小松菜のような姿で地面をおおいつくします。葉の縁取りがギザギザに変わる5月中旬になると、葉はぎゅうぎゅう詰めになってきます。この状況でひと月ほどがんばります。6月初旬になって、株の真ん中からほんの少しだけ茎が立ち上がってきます。茎は2ヶ月もかけてようやく茂みから脱出するのです。だいたいのんびりしています。

晴れて茂みを抜け出した茎は、太く筋が入りたくましくなります。右、左と規則正しく互い違いに葉を開きながら、地面とぴったり90°の角度で真っ直ぐ伸びてゆきます。茎の先の葉が小さくなる9月初旬、緑色の玉のような蕾の集団が現れます(写真2)。ここから開花までには、まだ1ヶ月も先です。茎を伸ばしながら、そして側芽の蕾もふくらませながら、養分をじっくり茎の先端まで送ってもらうためです。はるか地面を見下ろすと、相変わらず密に茂った葉

の集団が応援してくれているようにも見えます。

10月になり、めでたくひとつ目の花が開花すると、2週間ほどかけてゆっくりと花を順番に咲かせ(写真3)、さらに2週間ほどかけて終わりへ向かいます。11月中旬になると、茎と葉は黄土色に変わってくたびれてゆきます。でも、これで終わりではありません。ダルマシオンには2回目の見ごろがあるので、咲き終わってから2週間かけて種ができて綿毛の「花」を咲かせます(写真4)。そして、11月下旬には風に吹かれて飛んでゆきます。12月中旬になると、お行儀よく規則正しく並んでいた茎は焦げた棒のような姿になります。ここで切るのをがまんすれば、年末には枯れ茎に積もる綿帽子のような雪の「花」を楽しむこともできます。



写真2 9月下旬。蕾の先端が淡紫色に染まるところが始める。



写真3 10月初旬。花の外側は淡紫色の舌状花。内側は黄色の筒状花。



写真4 11月下旬。もうじき種が飛ぶ綿毛の中にあるのは枯れた舌状花と筒状花。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ モチノキ ～

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正 史

モチノキは、前回紹介したモッコクとともに「庭木の王」とされている庭園木で、古くから植栽されています。また、この樹木の樹皮からとれる鳥もちは、小鳥や昆虫を捕まえる際に利用されていたことでもよく知られています。

1 特徴

山形県と宮城県以西の本州、四国、九州、沖縄、中国、台湾に分布する常緑性の樹木で、育つと10m以上の大木になります。成長がゆっくりしているため、放任してもある程度まとまった樹形になります。剪定に強いので、手を入れれば様々な形に仕立てることができます。写真1はその一例です。

日当たりを好み、やや粘土質で保水性と養分のある場所が理想的です。しかし、半日陰でも育つため家の北側にも植栽することができます。

イチョウと同じように雌株と雄株があります。雌株は、花後に径1cmほどの丸い果実をたくさん付け、秋には真っ赤に熟します(写真2)。雄株は当然のことですが、実はありません。

モチノキによく似た樹木にクロガネモチがあります。間違いやすいのですが、若い枝が紫色を帯びていたらクロガネモチであり、そうでなければモチノキです(写真3)。

2 維持管理

枝葉が密生してくるとカイガラムシが発生しやすくなり、大発生すると樹勢が衰えます。この虫の排出物にはスス病が寄生し、葉が黒くなり、光

合成能力が著しく低下するため、樹勢がさらに衰えることになります。この被害を防ぐためには、カイガラムシの防除が大切です。マツグリーン液剤2などの浸透移行性殺虫剤で対応してください。

また、富山市内の民家のモチノキでは2017年に葉が黄変する被害が発生しましたが(写真1左)、その年だけの現象で、翌年以降、そのような現象はまったく見られていません。黄変の原因については現在でも不明なままです。このような被害がありましたら、ご一報ください。お願いします。



写真2 モチノキの実 2011.11.17 県中央植物園



写真1 剪定によって整えられたモチノキの樹冠と樹高
左：2017.8.10 右：2021.10.1



写真3 モチノキとクロガネモチの違い。クロガネモチは、若い枝が紫色。

左：モチノキ 2011.11.17
右：クロガネモチ 2010.10.29

とやまの花壇 ～入善 栢山銀行の花壇～

富山県内には、地域の皆さんが丹精込めて育成されている素晴らしい花壇があふれています。花とみどりの癒しのスポットを、是非、探訪ください。

1 花壇の特色

入善町栢山の中心地、公民館や保育所を配置した広々とした広場に、栢山地方銀行の頭取・グリーンキーパーの皆さんが活躍する花壇があります。

公民館前と県道交差点の2箇所、面積 約280㎡の大きな回遊花壇です。平成15年に公民館が移設して新築となり、花壇が増設されたのを契機に、頭取・グリーンキーパーの活動拠点として花壇づくりが始まりました。造成時に地区民から提供された花木（ツツジ、アジサイなど）や宿根草（サルビア、ジキタリスなど）も大きく茂り、今ではりっぱな松の銘木も堪能できる、見ごたえのある花と緑の地となっています。



写真1 広場の主、松の銘木も、日ごろの草刈り・清掃に感謝。

2 活動概要

（1）取組みと工夫

○ 花壇づくり

花壇作業は、5月下旬の春花の撤去と牛ふん堆肥等による土づくりから始まります。その後は会員20名が月1回集まり、夏花の植栽や除草、花柄摘みなどに取り組みます。日々の水やり、花の手入れは、2名ずつが1週間交代で行っています。

管理地が広く労力的に大変ですが、交差点花壇の周囲にはゴミステーションや水防倉庫などがあり、フェンスを設置しハンギングバスケットを掛けるなどして、花壇との調和のとれた景観づくりに努めています。

また、毎年、継続して有機質資材を施用し——もみ殻燐炭、牛ふん堆肥、発酵油粕など——、花の声を聞き、花の健康状態、病虫害被害に注意しながら世話をしています。

メンバーの親睦も兼ねて、毎年、県内近郊の花壇や須坂市のオープンガーデンなどを訪れ、花壇づくりの知識、技術の向上に努めています。また、公民館との共催で花壇づくりの講演会（講師 職藝学院渡邊先生）を平成29年に開催したところ、地区の方々に大好評で、今後も継続して開催してゆきたいと思っています。

○ 地域との交流、つながり

平成18年からは公民館で山野草展示会を春、秋の2回開催し、地区の方々に楽しんでもらい、自分たちのやりがいにもなっています。

また、平成28年に県道愛護ボランティアに登録となり、月1回の花壇管理作業に合わせ、隣接の県道の歩道の草刈りや清掃、街路樹の枝打ち作業を

行い、地域の一員としてのボランティア活動にできる範囲で取り組んでいます。



写真2 月に1回、県道歩道や広場緑地帯の草刈り清掃をしています。

（2）花壇づくりへの思い

メンバー全員が集まった花壇づくりにより、個人の花づくりでは得られない「楽しさと知識」をたくさん得ることができています。共通の話題で語り合い、お茶を飲み、同じ時を過ごすのは、とても幸せな時間です。

雑草が生い茂っていた交差点も、癒しの花壇となり、地域の方や道行くドライバーの皆さんからも、「きれいだね。見違えるようだね。」と、声をかけていただいています。60～70代のメンバーにとって、うれしい限りです。これからも、若いメンバーも募りながら、無理せず、老人パワーの活動を続けていけたらと思います。（以上、栢山地方銀行頭取 前田幹男さんに、お話を聞きました。）



写真3 栢山交差点花壇 2021.8.月上旬



写真4 栢山公民館前花壇

秋はサンパチェンスがお迎えします。 2021.9月下旬

● 花壇の概況

- ・規模 公民館前花壇 30㎡、交差点花壇 250㎡
- ・見頃 7月～9月
- ・住所 入善町栢山3529-1, 3572-2

「全国花のまちづくりコンクール」で大賞

本年の第31回全国花のまちづくりコンクールにおいて、砺波市の宮野裕子さんが「花のまちづくり大賞（農林水産大臣賞）」を受賞されました。

富山県では平成29年の山崎久夫さん（朝日町 春の四重奏）以来、4年ぶりとなり、これまで22の団体・個人が大賞・最優秀賞を受賞されています。

1 富山県の入賞の皆さん

宮野さんの大賞の他、富山県から次の皆さんが受賞され、富山の各地域での花とみどりの取り組みが高く評価されました。



- ・花のまちづくり大賞：宮野裕子（砺波市）
- ・花のまちづくり入選：5 団体

上堀駅を愛する会（富山市）、文京町公園愛護会（富山市）、高岡市立醍醐公民館花と緑の推進部会（高岡市）、市井自治会（射水市）、花と緑の銀行上市支店（上市町）

- ・シルバー賞（入賞 5 回以上）：2 個人
- 寺崎啓乃（富山市）、市山由美子（砺波市）

2 宮野裕子さんの取り組み

宮野さんは、砺波市の緑豊かな散居村で自宅の庭や宅道、沿道を中心に、約20年にわたり花壇づくりに取り組まれています。

地域の気候風土に合った宿根草や一年草を多用し、色彩に気を配り、古い農機具を利用するなど、砺波らしさを感じられるように工夫をしながら、日本の原風景である散居村に溶け込んだ落ち着いた着きのある花の地を創造してこられました。

花づくりのきっかけは、地区のグリーンキーパーへのお誘いだったとのこと。以来、高波地区の頭取グリーンキーパーとして18年間にわたり地域の花づくりを指導しておられます。

高波花街道（500m）の花苗づくり・定植までの管理指導の他、集会場・神社境内などの集落花壇では、児童クラブ・老人クラブなど幅広い世代間の交流を主導されるなど、地域の方々が花に親しむ環境づくりに尽力してこられました。

花を通じて地域の多くの皆さんと交流され、地元の風景・風習を維持し、次世代に伝える継承活動を長く行ってこられたことが、高く評価されました。



写真1 集落花壇（神社境内）での花の定植。三世代の交流の場となっています。



写真2 自宅前の宅道沿いの花壇（約70m）。散居村の緑をキャンパスに、宿根草と一年草を組み合わせ、色彩やデザイン、立体感のある配置を工夫し、古い農具を利用するなど、地域に溶け込んだ花づくりを体现。



写真3 高波花街道。高波花と緑の推進協議会の皆さん30人余りが活動され、地域の通勤、通学、散歩道として親しまれています。協議会としても、平成15年に花のまちづくり大賞（農林水産大臣賞）を受賞しています。



児童クラブの皆さんと三世代の定植



福祉協議会の皆さんと慰問鉢づくり



バス停前集落花壇の定植



砺波福祉センター北部苑での民生委員、協力員らとのプランター定植

写真4 地域のたくさんの方と花を通じた交流・支援。



ステップアップ研修に参加して ～ 皆さんのいろいろなお話が収穫 ～

花と緑の銀行 砺波支店

梅檀野地方銀行グリーンキーパー 西口 忠光

皆さんと初めて会ったのは、4月中旬の肌寒い日のように記憶しています。今から、花をデザインして育てて行くという事が心配でした。先生やスタッフの話に一つずつ感心しつつ、花に限らず、何事もつきつめると奥が深いものだと感じました。

花壇のデザイン作成では、時はオリンピックという事で、テーマは簡単に「五輪」に決まりましたが、花の名前さえも知らず、デザインがなかなか決まらず大変でした。

6月も過ぎ、花の勢いも増してきました。このころになると欲が出てきて、となりの班の芝がやたら青く（花の育ちがよく）見えて、わが班の花たちはと反省の週が続きました。

花も人と一緒に病気に也成了り、なかなか思うように大きくなれないものだなと思いました。

皆さんとは花の縁で知り合いになれたのですが、皆さんの長い人生をかけたいろいろなお話を聞いたのは、自分の大きな収穫でした。

こんな機会をくださり、本当にありがとうございました。



写真2 花壇実習の日々
左上：花壇デザイン作成 4/28
右上：花苗定植実習 5/26
左中：寄せ植え実習 6/9
右中：メンテナンス実習7/21
左下：研修の仲間たち 10/6

- ・本年度の研修は、コロナ禍のため、8月中旬～9月下旬の講座を班ごとの自習研修とし、管理ポイントを事前にビデオ撮りしてリモート実習とするなど、対処しました。研修期間：4/14～11/17 20講座 修了生：24人(全員)
- ・令和4年度 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修の受講募集は、2月下旬より予定しています。受講対象は、未受講の頭取・グリーンキーパーさんです。各支店(市町村担当課)までお問い合わせ下さい。

この人あり



もっと！ 身近に花を

花と緑の銀行 砺波支店

東野尻地方銀行 頭取 高木 清一

平成29年に廃園となった東野尻幼稚園を地区の振興会館にリノベーションする事業が、地区民の協力で令和2年の4月によりやく完成し、リニューアルオープンとなりました。

会館玄関前の荒れた花壇の土の入れ替えを行い四季の花を植えて、利用者や訪れる方々をお迎えできるように整備しました。また、隣接する運動公園を取り巻く憩いの環境に、四季折々の草花を咲かせる活動も変わらず進めています。育成ハウスでは4月からプラグ苗の移植、宿根草さし芽、種まきなどで、15種類、約7,000ポット余りの花苗を育成管理しています。その花苗は、各常会花壇、地区の道路脇を飾るプランター、家庭の庭先、そして「ふれあい花壇」を華やかに飾ってくれます。

メインの「ふれあい花壇」ですが、4年目になる宿根草ゾーンはチェリーセージを始め、エキナセア・宿根サルビア・アルストロメリアなどの

株分けや剪定などを行い、季節ごとに花をつけてくれています。今年はこれまでより宿根草のエリアを少し増やし、花の種類も一年草を超える程に植え付けました。今までは、花壇の外から花を觀賞していましたが、通路を変更し、もっと近くでいろいろな花の姿や表情を觀賞できるように、花壇設計を行いました。

運動公園には、休日に多くの子供連れの家族が遊びに来られ、明るい声が弾んでいます。地区の皆さんに気軽に立ち寄っていただき、心を癒していただくことが私たちの願いです。

今後の取り組みとして宿根草の管理方法を学ぶことや、花壇に適応できる花を色々と探し栽培を試みたり、花だけではなく葉の色・姿の面白い植物も取り入れていきたいと思っています。楽しく活動を行うことをモットーとして、ハンギングバスケット講座や寄せ植え講座・コンテナガーデンコ

ンテスト出展など、グリーンキーパーのスキルアップの為の研修を行ってきましたが、コロナウイルス感染症防止の為、研修旅行を実施することが出来ませんでした。優れた花壇から学んできくことも大切であり、ぜひ、来年は実現したいと思っています。

地区の高齢者学級での寄せ植え教室では、年2回で合計60名の参加があります。多くの方に寄せ植えを楽しんでいただくことは、活動を理解していただく良い機会と思っています。また、独り暮らし老人宅への花鉢配布や夏祭りでの花壇のライトアップ、公民館まつりでの花と緑の推進協議会活動報告など、公民館行事に積極的に協力・参加していきます。

当地区の花と緑の推進協議会は41名の委員で構成されています。内訳は自治振興会役員14名、各常会委員14名及びグリーンキーパー13名他、老人会役員30名の方々の協力で、花苗と花壇管理を行っています。昨年、これまで活動を支えていただいた婦人会の活動が中止となり、そのため花殻摘みなどの細かな作業がなかなか進まない現状があり、女性の参加をどのようにして進めるかが課

題です。

「ふれあい花壇」以外に各常会花壇や道路沿いに環境景観のプランターが設置されており、城端線の東野尻駅のホーム脇や沿線には芝桜の植栽と、地区あげての花いっぱい活動を行っています。私たちは花苗の配布をはじめ、花壇管理の指導を通じて、活動の支援を行っていきます。



写真1 活動の日々
左上：ふれあい花壇 整地作業
右上：ふれあい花壇 花苗植付
左下：ハンギングバスケット
研修

🌸 お知らせコーナー（1月～3月の主なイベント）

🌿 「花とみどり・ふれあいフェア」

1 日 時 令和4年2月26日(土) 10:30～17:00 2月27日(日) 10:00～16:00

2 場 所 フューチャーシティ ファボーレ(富山市婦中町下轡田165-1)

3 主な内容

- (1) 花と緑の展示コーナー
コンテナガーデン、わたしの寄せ植え、
花と緑のコンクール入賞作品展 など
- (2) 花と緑の体験コーナー
生け花、花束づくり、寄せ植え など
- (3) その他
花の種無料貸し出しコーナー など

🌿 「わたしの寄せ植え」出展募集中！

- ・展示期間 2月21日(月)～27日(日)
- ・展示場所 「花とみどり・ふれあいフェア」会場
- ・申込み受付 1月28日(金)まで必着
- ・入賞者へ賞状・副賞を授与します。
- * 詳細・申込書は、銀行HPをご覧ください。
(お問い合わせ・お申込みは、銀行・緑花推進部まで)

🌿 富山県中央植物園

○第9回クリスマスローズ展 2月25日(金)～27日(日)

*栽培講習会：26日(土)・27日(日) 14:00～15:30

○第50回富山県蘭まつり大会 3月4日(金)～6日(日)

*栽培講習会：5日(土)・6日(日) 10:30～12:00, 14:00～15:30

○第18回雪割草富山県大会 3月11日(金)～13日(日)

*栽培講習会：12日(土)・13日(日) 14:00～15:30

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

🌿 県民公園 頼成の森

○竹スキーづくり教室 1月30日(日) 9:30～12:00 定員：15名 参加費：500円

○守り人と歩く頼成の森 2月6日(日) 9:30～13:00 定員：15名 参加費：400円

<冬の森の中を探検しよう>

(詳細はHPをご覧ください。申込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923

<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923

<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450

<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 222号

発行日 令和4年(2022年)1月

再生紙を使用しています。